

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8247
担当部課名	都市部	都市計画	課	
事務事業名	都市計画基本図作成委託		事業コード	26140

1 総合計画における位置づけ

政策名	第6章	総合的、計画的な土地利用を進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	環境と調和し、地域の特色を生かした秩序ある土地利用の実現	~63
施策名	第4施策	土地利用の計画的誘導	年度

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
都市計画決定や事業認可の図書、建築指導、都市計画の調査研究の資料として活用するため、年度内に決定及び変更された内容について、都市計画図の修正を行い、印刷物を作成する。 また、本事業で作成した都市計画図を基に別添販売用の印刷図を作成し、市民に最新の都市計画情報を提供する。		相模原市域	
		対象数	
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
都市計画図修正業務委託 2,048千円 1/2,500都市計画図修正 1/20,000都市計画図(印刷図)作成		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名なし	
		計画年次	
		年度~ 年度	

4 評価指標

指標名	都市計画図使用率		
指標式	利用枚数 / 印刷枚数 × 100		
指標設定の意図	都市計画図の印刷物の使用頻度を表す。		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	100	100	a 100	b 100	100	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	4,935	1,260	2,048	2,048	5,900
	人員・時間数	24時間	24時間	244時間	24時間	24時間
	人件費	100	100	100	100	100
	その他経費					
	合計	5,035	1,360	2,148	2,148	6,000
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	都市計画決定や事業認可の図書として活用するとともに、建築指導、都市計画の調査研究などの資料として活用した。また、本事業で修正した都市計画図を基に販売用の印刷物を作成し、市民に最新の都市計画情報を提供した。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	都市計画決定や事業認可の図書、建築指導、都市計画の調査研究の資料として活用するため、最新の都市計画図を作成するべきである。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	都市計画図の活用方法は多様であり、費用対効果は高い事業である。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	県は、県域を対象とした都市計画図を作成しており、それぞれの役割分担から市が作成することは適当である。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	最新の都市計画図で都市計画の情報提供ができています。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	各種上位の施策を実現するために必要となる都市計画の検討資料、都市計画図書として必要な図面である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 印刷版下のデジタル化により各部署での図面作成に活用できる。
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 庁内イントラネットシステムの活用により最新の都市計画情報の提供が可能となり、印刷部数の削減が図れる。また、印刷物の版下のデジタル化により経費の削減が図れる。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	庁内イントラネットシステムの活用により、印刷部数の見直しについて検討が必要であるが、都市計画法に基づく決定、変更及び事業認可には、最新の都市計画図が必要であり、継続して事業を行うものである。
<input type="checkbox"/>	継続		
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--